（別紙７）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	訪問支援ケ・セラ

公表日　2026 年 10月 1 日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境・体制整備・運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	○		児童発達支援での様子や発達段階を踏まえ、必要に応じて教材や視覚支援等を選定しています。	訪問先の環境に合わせ、より活用しやすい教材を検討していきます。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		利用状況や訪問日程を調整しながら、計画的に訪問を実施しています。	訪問支援員が限られているため、安定して対応できる体制づくりが課題です。
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		訪問後の情報を事業所内で共有し、その後の支援内容の検討につなげています。	より多くの職員が振り返りや支援の検討に参画できる機会を設けていきます。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者評価を実施し、意見や要望を把握して支援や業務の改善に活用しています。	
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか 。	○		＊自由に意見交換できる環境に整え、職員の意見等を把握 し、支援に繋げています。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		＊今後外部評価機関による評価を検討します。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		＊研修受講料の補助制度があります。	
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		児発での様子や家庭での状況、保護者の意向等を踏まえてアセスメントし、計画を作成しています。	継続的に情報を収集し、より具体的な支援目標の設定につなげていきます。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか 。	○		日頃の児発での様子や職員からの情報も踏まえ、支援内容を検討しています。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		契約後に訪問先へ聞き取りを行い、園での様子や担任等の意向を計画に反映しています。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	○		訪問内容や計画について職員間で共有し、児発での支援にも反映しています。	
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		児発や訪問先での日々の行動観察を通して、適応状況を継続的に確認しています。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインを踏まえ、児童・保護者・訪問先の状況に応じた具体的な支援内容を設定しています。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		＊児童発達支援の職員も含めて、定期的にケース会議を行い、様々な意見を元に計画的に支 援している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		訪問前に児発での様子や保護者からの情報を確認し、観察・支援の視点を整理しています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		＊報告し、支援内容を児童発達支援と共有しています。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○		訪問先の方針や集団保育の状況を尊重し、園側の立場も踏まえて一緒に支援方法を検討しています。	
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○			
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		＊定期的に保護者面談や支援内容について共有し、必要に応 じて見直しを行っています。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		＊保育園等を通じて関係機関との会議を行う際は担当者が同席する方針としました。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		＊嘱託医等と連絡し、支援内容や子供の姿 を報告しています。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		＊必要に応じた対応を図ります。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○			
	24	(自立支援)協議会子こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		＊子ども部会及び校区の子育てネットワークに参加しています。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		＊児童発達支援と共有して、随時発信しています。	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		＊契約締結の際に、丁寧に説明しています。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		訪問開始前に事業の目的や支援内容について説明し、理解を得た上で実施しています。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	○		保護者の希望や児童の状況を確認し、本人の利益を考慮して計画を作成しています。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○	＊今後ニーズに応じて開催を検討します。	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		保護者からの相談や申入れを随時受け、必要に応じて職員間で共有し対応しています。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		＊一律な助言や支援ではなく、訪問先の状況に応じて対応を 行うようにしている。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		訪問後に担任等と児童の様子を振り返り、支援方法について情報共有や助言を行っています。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		訪問後、観察した様子や園との共有内容を保護者へ分かりやすく伝えています。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			

	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		訪問後、観察した様子や園との共有内容を保護者へ分かりやすく伝えています。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		＊併設の児童発達支援と共有して、マニュアルを活用し想定訓練実施計画 を作成して実行します。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		全計画に基づき、安全管理を意識した支援や研修・訓練を行っています。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		＊事案の共有だけではなくヒヤリハットの記録をつけることとしました。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		身体拘束を行わない支援を基本とし、児童の安全と尊厳に配慮した支援を行っています。	